

# つけると安心「散水栓」

高岡市上下水道局では、災害時の給水経路を確保するため、水道メーターの近くに、耐震性に優れた給水管によって散水栓及び止水栓を設置することをお勧めします。

地震などの災害時には、宅地内（水道メーターより蛇口側）の水道管の破損により、道路上の水道本管が復旧した後も、宅内で水が使用できないという状況になることがあります。

実際に能登半島地震では、高岡市内でも宅地内、特に建物の基礎付近での水道管の漏水が原因で、水が使用できなくなる事例が多く報告されました。

ご家庭でできる災害時の水道の確保策として、水道メーターの近くに散水栓及び止水栓を設置することを、建物の新築、改築の際にはぜひご検討をお願いします。

